

第2章 演習問題解答

2.1 (i) 1 (ii) $\frac{1}{3}$ (iii) 2 (iv) 1

2.2 不等式

$$0 \leq |\sqrt[3]{x} - \sqrt[3]{a}| = \frac{|x-a|}{\sqrt[3]{x^2} + \sqrt[3]{a}\sqrt[3]{x} + \sqrt[3]{a^2}} < \frac{|x-a|}{\sqrt[3]{a^2}}$$

を示して, はさみうちの定理を用います.

2.3 $g_1(x) := f(x) + \epsilon - f(c)$ に対して定理 2.3 を用います. すなわち $g_1(c) = \epsilon > 0$ から正数 $\delta_1 > 0$ が存在して

$$g_1(x) > 0 \quad (c - \delta_1 < x < c + \delta_1)$$

すなわち

$$f(x) > f(c) - \epsilon \quad (c - \delta_1 < x < c + \delta_1)$$

が成立することが従います. 他方, $g_2(x) := -f(x) + f(c) + \epsilon$ に対して定理 2.2 を用いると, $g_2(c) = \epsilon > 0$ から

$$f(x) < f(c) + \epsilon \quad (c - \delta_2 < x < c + \delta_2)$$

を満たす正数 $\delta_2 > 0$ が存在することがわかります. ここで

$$\delta := \min(\delta_1, \delta_2)$$

とすると

$$f(c) - \epsilon < f(x) < f(c) + \epsilon \quad (c - \delta < x < c + \delta)$$

を得ます.

2.4 公式

$$1 - \cos \theta = 2 \sin^2 \frac{\theta}{2}$$

を用います. この公式は, 倍角の公式を用いて

$$\cos \theta = \cos\left(2 \cdot \frac{\theta}{2}\right) = 1 - 2 \cos^2 \frac{\theta}{2}$$

から導くことができます. この公式を用いると

$$\frac{1 - \cos \theta}{\theta^2} = \frac{2 \sin^2 \frac{\theta}{2}}{\theta^2} = \frac{1}{2} \cdot \left(\frac{\sin \frac{\theta}{2}}{\frac{\theta}{2}}\right)^2 \rightarrow \frac{1}{2}$$

と $\theta \rightarrow 0$ の極限を計算することができます.

2.5 $x_n \rightarrow +\infty$ ($n \rightarrow +\infty$) が成立するとします . このとき不等式

$$f(x_n) \leq g(x_n) \leq h(x_n)$$

において $f(x_n), h(x_n) \rightarrow A$ ですから , 数列のはさみうちの定理から

$$g(x_n) \rightarrow A \quad (n \rightarrow +\infty)$$

を得ます . これは

$$\lim_{x \rightarrow +\infty} g(x) = A$$

を意味します .